



金札下渡負秋衣書

括瀨之庵
天仙法也

2095



114
A 3299



五十二年四月廿七日

全社致の文

引當に全社致の文を分り及用途を令
渡文を全社致の文六月廿七日

伝別本内郡
三浦村

中三浦

五十二年四月廿七日

全社致の文

大黒屋在巻

伝別本内郡

三浦村

五十二年四月廿七日

大正十一年四月

引当及代中系引当の要提下抄書
引当 巨月 吉定

一月廿五日 後六月廿日
一 金札 御書

後列 御書 御書
重之 和志 御書
桂屋 御書 御書
法入 及 御書 御書

引当 御書 御書 御書 御書 御書
御書 御書 御書 御書 御書

一月廿五日 後六月廿日
一 金札 御書

三井 御書 御書
御書 御書 御書
御書 御書 御書

御書 御書 御書 御書 御書
御書 御書 御書 御書 御書

一月廿五日 後六月廿日
一 金札 御書

桂屋 御書 御書
三井 御書 御書

御書

一月廿五日 後六月廿日
一 金札 御書

日 御書 御書
御書 御書 御書
御書 御書 御書

引島月と雲原を雲原と今言ふ事
後之肝葉新並沼月とあり上西村
三月三日あり

二行に依りし
一 念札のあり

川島提弟の心と云う三月三日あり

二行に依りし
細書あり

二行に依りし
一 念札のあり
二 念札のあり
三 念札のあり

一 念札のあり

二行に依りし
一 念札のあり

大黒のあり

一 念札のあり

梅園のあり

一 念札のあり

口竹
二行に依りし
一 念札のあり

一 門前フナニケワトの可及利月
七

甲子年四月

重之 為宗幸也

控儀所申目

法人 中津守

一 門前長尾中津守利月七

上野野多歌

大胡竹

重之 為宗幸也

一 門前長尾中津守利月七

控儀所申目
法人 同村や仁

一 門前長尾中津守利月八

佐列文

力在村

重之 為宗幸也

控儀所申目

法人 三浦守

一 門前長尾中津守利月七

一 門前長尾中津守利月八

永正七年七月

桂原寺

一 合札豆

六月

廿七日

三國

口

一 合札

和歌山

三國

一 合札

上野

永正七年七月

吉岡

行

永正七年七月

吉岡

永正七年七月

Vertical text on the left edge of the top page, possibly a title or index.

和暦 正月十七日

一 合礼 豆のちや

平七 豆のちや

桂原 兼左衛門

六里 加 ちや

平七

三國 氏の内 三ノ

口 三ノ目

毒 谷 三ノ目

和 丸 人

ちや

一 合礼 豆のちや

平七

上 野 村 四ノ目

大 野 村

二 定 七

桂 原 兼 左 衛 門

和 丸 人

一 合礼 豆のちや

平七 豆のちや

川 崎 氏 内 三ノ目

平七

一 合礼 豆のちや

平七 豆のちや

吉 岡 氏 内

川 崎 氏 内 三ノ目

元帝

中津の坊

三局の坊

伝道館の坊

の坊

尾木町の坊

吉岡町の坊

馬場町の坊

一、西の書院の門三行三行の坊

一、金札の坊

千代子の坊

一、金札の坊

一、金札の坊

三月

